

教育目標	自然に親しみながら創造的に過ごすことのできる人間を育てる
------	------------------------------

重点目標	園児の活動に対する意欲を高めるために心情を受け止め、その延長線上の態度を育成する
------	--

重点課題	園児の創造性を高める活動の設定にあたり、各教員のさらなる創造性を発揮し得る職場環境を作る 園児の創造性を高めるとき、家庭を支える家族の理解と協力の在り方を精査し、進める。特に保護者のエゴと需要の違いを見極める 園児送迎時の安全を確保する一環として、スクールバスのより安全な運行をはかるための方策を練り、実施する
------	---

凡例
4=◎
3=○
2=△
1=×
0=××

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
心情	保育者	指示ではなく理解を寄せる	3.50	子どもと一緒に考えるようにした。自分から築いて理解できるような、声掛けをした。	良い。
		子どもの言葉にうなづく	4.00	共感していることを態度で示した。子どもの気持ちに寄り添い、共有するようにした。	
		子どもの言葉を聞き逃さない	3.75	時に聞き逃してしまうことがあったが、子どもの目線に立つようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
意欲	保育者	適切な教材などの環境を準備する	3.75	子どもの声を聞いて、準備してきた。想定した準備物より、さらに必要なものは何か考え、環境を整えた。	良い。
		言葉を拾って広げる	3.75	一人の発言も周りのみんなで、受け止め、さらにクラスの子もだけでなく、学年にも広めた。	
		成果を喜ぶ	4.00	結果だけでなく、どう頑張ってきたかを認め喜んだ。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
態度	保育者	動機の高まりを受け止める	3.75	気持ちを代弁して認めた。共感し受け止めた。	良い。
		集中力の行方を見定め助長する	3.75	夢中になっていることに対して、刺激になる材料をさりげなく足した。	
		任せる	4.00	出来ることは見守ってきた。成長につながることを見極め、頼むようにした。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察		
I 保育の 計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.46	ミーティングや職員会などで、園の方針について、話し合っている。 教育課程をもとに、月のカリキュラムを立て、子どもの成長につなげている。	/		
	園の教育方針に共感している					
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている					
	園のねらいにそった保育をしている					
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる					
	1					
	幼稚園教育要領を理解していると思う	3.16	様々な事例をもとに職員同士で考え、予測を立て、共通理解できるようにしている。			
	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている					
	幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる					
	2					
	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえ園の教育理念・教育方針にしたがい編成している	3.48	年齢に合った活動を進められるよう、話し合っている。 どういう子どもに育てほしいか、そのためにはどういう保育が適切か、考えて日々の計画を立てている。		/	
	園の教育課程を理解していると思う					
	園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている					
	園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している					
	園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている					
	3					
	園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	3.51	一人ひとりの子どもの様子を把握するようにしている。 一方的にならず、保育者が道筋は立てるが、子どもと共に考え、保育を進める計画を立てている。			/
	指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している					
	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している					
	長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している					
短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている						
指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している						
幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している						
4						
安全で清潔感のある環境構成をしている	3.32	子どもの興味、関心事を見て探り、必要に応じて、素材、材料を準備した。 年齢に合った素材選びや季節を考慮したものなど、工夫して環境構成をしている。 コーナーを作り、子ども達が自主的に活	/			
指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている						
幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている						
幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている						
遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している						
楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている						
幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている						
5						

<p>幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している</p> <p>幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている</p> <p>教師の願いや意図をもって環境構成をしている</p> <p>幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている</p> <p>季節の変化に応じた環境構成をしている</p> <p>異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている</p>		<p>動を進められるようにした。</p>	
<p>6</p> <p>自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている</p> <p>評価・反省は観点を定めて行っている</p> <p>自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている</p> <p>自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している</p> <p>互いに保育をみせあって、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている</p>	<p>3.04</p>	<p>保育を振り返り学年会などで話し合うようにしている。 お互いの保育をしている姿を学び、どのように声をかけているか、活動の展開の仕方など学び、自分の保育に生かそうとしている。</p>	
<p>1</p> <p>朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確認している</p> <p>体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している</p> <p>けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけを行っている</p> <p>万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている</p> <p>園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している</p> <p>危険が予測される場合は、幼児達と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている</p> <p>クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている</p> <p>トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している</p>	<p>3.71</p>	<p>体調や安全を第一に考え、常に一人一人の幼児の心身を考慮している。インフルエンザが流行したこともあり、手洗い、うがいのほかにアルコール除菌を徹底して行うようにした。</p>	
<p>2</p> <p>一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている</p> <p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p> <p>幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動のある程度予想することが出来る</p> <p>個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる</p> <p>幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる</p> <p>幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる</p> <p>幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている</p>	<p>3.47</p>	<p>学年全体で行う行事が増えるので、一人一人の意見が出やすいよう配慮している。 クラスで意見をまとめるなど、思いをくみ取れるようにしている。 6歳になるまでに育てほしい姿を目指して、それに合った活動をするよう、心がけている。</p>	

II 保育のあり方、 幼児への対応	<p>幼児の理解のために保護者と話し合うことがある</p> <p>幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している</p> <p>幼児の姿を多面的にとらえることができる</p>		
	<p>3</p> <p>幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたつてもものを見つめたりしている</p> <p>幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる</p> <p>一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている</p> <p>幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている</p> <p>「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている</p> <p>教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている</p> <p>幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている</p> <p>善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている</p> <p>幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている</p> <p>幼児とのスキンシップをとるようにしている</p> <p>幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている</p> <p>幼児の話をよく聞くようにしている</p> <p>幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している</p> <p>幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている</p> <p>幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている</p> <p>幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている</p> <p>禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている</p> <p>”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考えながらかかわっている</p> <p>幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている</p> <p>幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている</p>	3.63	<p>常に子どもに見られていることを意識して、言葉使い、行動、身なりに気をつけ手本となる姿をこころがけている。一人一人の個性を受け止め、否定しないようにしている。</p> <p>幼児の気持ちを受け止めながら、スキンシップを取っている。</p> <p>幼児の姿を認め、褒めるようにしている。トラブルの際は、両者の話を聞き、公平に納得できるような対応をしている。</p>
4	<p>クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている</p> <p>クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している</p> <p>幼児のことについて常に保育者同間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p> <p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p>	3.25	<p>ミーティングや職員会で、子どもの情報を共有している。</p>

	<p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようなさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちとかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	3.55	<p>学年会などにおいても違うクラスの子どものことについて話し合っている。</p>	
Ⅲ 教師としての資質や能力	<p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする</p> <p>1 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</p> <p>保育にふさわしい服装を身に付けている</p> <p>自らの健康に、十分に気を配っている</p> <p>爪の管理をしている</p> <p>子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する</p> <p>担任する、子どもの性格を把握している</p> <p>職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている</p> <p>幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない</p> <p>園の重要書類を無許可で持ち出していない</p> <p>教材、教具の管理、点検に気を配っている</p> <p>クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している</p> <p>現金は管理せず、事務所に預けている</p> <p>締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている</p> <p>同僚や園の批判を軽はずみにしていない</p>	3.55	<p>子どもの安全や成長を第一に考えて、身だしなみや言葉の使い方に気をつけている。</p> <p>気になることや、成長できたことを記録し、子どもと一緒に喜びあえるようにしている。</p> <p>子どもだけでなく、保護者にも笑顔であいさつし、一日が気持ち良く過ごせるように努めている。</p> <p>仕事の手順を考え、持ち帰りの仕事を減らせるようにしている。</p> <p>仕事はスケジュール帳にメモし、他の教員、保護者に迷惑がかからないよう、毎日確認している。</p>	<p>懇談のときの話す内容をいくつか決めて、先生から話を広げてほしい。(全員ではなく先生によるが、話が盛り上がりすぎ困った。)</p> <p>送迎時など会ったときには、挨拶や子どもの様子の話をしてくれる。</p>
	<p>教職員全員でひとつのチームであることを意識している</p> <p>学年をまとめようと努力している</p>			

	「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない
	会議や打ち合わせは時間を厳守している
	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる
	自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している
	会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている
	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている
2	係の仕事は確実にこなしている
	教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない
	上司の指示、命令には責任を持って実行している
	上司や先輩に対しては敬語を用いて話している
	教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない
	園のことを、みだりに、他へ話してしていない
	主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える
	主任、もしくは上司を尊敬できる
	同僚の問いかけに無視することなく、答えている
	自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている
3	幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである
	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる
	幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる
	幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい
	特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる
4	幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている
	幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある
	幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている
	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている
	地域のことに関心がある
1	クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりで知らせている
	欠席の場合は電話連絡をしている
	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている
	保育参観や保護者会を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている
	場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする
	いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている
	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている

3.57

分からないこと、悩んでいることは、自分一人で抱え込まないで、周りの保育者に相談するようにしている。
メモを取るなどアドバイスしてもらったことを忘れないようにしている。
学年で意見を求める際、自分の思いを伝え、他の人の思いにも耳を傾け、共感するようにしている。
上司や主任の保育者からのアドバイスは素直に受け取るよう心がけている。

新任の先生のフォローを今年度はお願いしたい。(子どもが寂しい思いをしないように) 教職員間の関係を親が感じる部分がある。

3.82

子ども達と関わる中で、自分自身も一緒になって楽しみ成長したことを喜ぶようにしている。

温かく保育してもらっていることが伝わる。

3.46

常に子どものことについて考えている。(ニュース、外出時など)仕事に繋がることは大切にしている。

自然の中の知識をいろいろ教えてくれる。(雲の形、木の実など)

3.18

園だけでなく、家での様子を教えてもらえるよう努めている。
園での様子を伝えられるよう努めている。
面談では出来るようになったことや頑張っていることなど、成長の過程など詳しく

おたよりは、紙面の方が管理や予定を把握がしやすかった。
保護者への準備物の連絡がペーパーレスになり、確認不足が生じた。準備物だけの専用の掲示板のようなものがほしい。

IV 保護者への対応	「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる	3.59	園長や複数の保育者で話し合い、子どもにとって一番良い支援が出来るよう考えている。	バスキャッチを読まなくなってしまった。	
	「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる				
	「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる				
	「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる				
	「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる				
	必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている				
2	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている	3.82	園の方針にしたがっている。 友達口外はしていない。	良い。	
保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている					
保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている					
保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている					
3	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	3.82	園の方針にしたがっている。 友達口外はしていない。	良い。	
個々の子どもの情報は口外していない					
保護者、家庭の情報は口外していない					
4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	3.66	言葉使いや話し方は普段から正しく使えるように意識している。 どの保護者にも、平等に接し、笑顔で親しみやすい雰囲気づくりをしている。	特に言葉遣いや話し方で気になったことはない。	
親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない					
電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心がけている					
保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない					
長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている					
園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている					
保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している					
5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	3.65	している。	対応してもらっている。	
クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している					
V 地域の自然や社会との関わり	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	2.95	散歩へ行き、沢山の人と触れ合うようにしている。交流はなかなか難しいことが多い。	立地的に交流は難しいと思うが、定期的に散歩はしていたので続けてほしい。
	地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している				
	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している				
	地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている				
	2	小学校の教育内容について理解しようとしている	2.5	保護者に様子を聞いているが、分からないことも多い。	卒園後の後追いは個人情報になるため、求めているが、保護者から意見があれば情報共有を先生内でしてほしい。
卒園した子どもの情報を得るように努めている					

か か わ り		地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている			
	3	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している 地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている	2.45	回覧で資料に目を通してしている。	良い。
VI 研 修 と 研 究	1	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している 研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている 研修会や研究会では活発に発言している 専門書や専門雑誌を読んでいる 研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている 自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている 自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている 他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している	2.92	研修には進んで参加し、自身が体験した事柄を思い出しながら、勉強している。	Facebook等のSNSで勉強会をよく開催しているのを見る。継続をお願いしたい。
	2	子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている 指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている 環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている 指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている 自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている 確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている 保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている 良識・常識・義務・マナーなどに関する研修・研究を行なっている 保護者への対応のあり方について研修・研究を行なっている	3.08	保育を振り返り、課題を見つけたり、生かしたりすることを考えながら行っている。	新任の先生や、繁忙な先生へのサポートの先生、手助けの出来る先生の強化を保護者は求めている。自身が学んだ経験値を、新任の先生や他の先生に共有する時間をもう少しとるようにしてはどうか。
	3	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている 園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している 園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている 園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている	3.18	年度初めに遊具の点検を行っている。安全に使えるよう、点検指導している。	積み木や量り等の教材の研究と共に、使用頻度をもう少し増やして、有効活用してほしい。
	4	園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている 園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている 園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている 園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている	2.89	子どもの目線に立って環境や季節に触れ、楽しめるように考えている。	先生同士での園庭の植物や虫等を研究しているので、それを子どもにフィードバックしてほしい。よく子どもが虫やオタマジャクシを捕まえてくるが、それからの飼育方法や命の大切さ等を子どもに教えてほしい。研究だけでなく、それを子どもにフィードバックしてほしい。

5	子どもを取り巻くさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている	3.02	研修や園内での勉強会、学年会での話し合いなど、意見交換をしている。アレルギー病気について調べ、担任以外でも対応できるよう、話し合いをしたり、勉強をしたりしている。	Facebook等でアレルギー(エピペンの使い方)等、研修しているのを知っている。他の幼稚園とも比較してもらい、よい取り組みのことも力を入れてもらいたい。給食の対応は素晴らしい。
	さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている			
	クレームの対応についての勉強会をしている			
	アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している			
	障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している			
	預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している			
	チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している			
	幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している			
6	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している	3.45	保育ばかりでなく、様々な分野にも目を配り、時間を大切にしたいと常々考えている。	仕事を家に持ち込まず、プライベートは大切にしたい。
	趣味・人とかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている			
	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある			
	尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている			
いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている				

運転スタッフ自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 計 画 性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.72	常に看板を背負っていることを意識し園のイメージダウンにならないように運転を心がけている。	子ども達に親切にしてもらい、点検もしてもらっているのが良い。
	園のねらいにそった対応をしている			
	幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している			
	作業点検を実施している			
	2			
3	幼児に教育上不適切な言葉がけをしていない	3.29	勉強不足で言葉が見つからないこともあるが呼び捨てなど気を付けるようにしている。	十分に声を掛けてもらっている。
	楽しい雰囲気の中で安定して過ごせる環境構成をサポートしている			
	幼児の活動がより豊かになるように、言葉を添えている			
4	自分の運転の評価・反省を自分自身で行っている	3.67	優しい運転を心がけている。	心がけてもらっている。
1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている	3.75	走行中に危険を感じたら、先生に訂正するようお願いしている。バスの後方は姿勢を低くしたら、ルームミラーで確認できるので、実践している。	狭い空間の中、嘔吐が気になる。換気や消毒などは気を付けてもらっている。今後も引き続きお願いしたい。
	万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらおうなど適切な処置をとるべく行動している、またはその心の準備がある			
	幼児にとっての危険の排除を意識して行っている			
	スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気をつけている			
2	幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている	3.56	心がけている。	出来ている。
	幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしていない			

II 現場のあり方（対応と技術、運用）	<p>善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている</p>			
	<p>3</p> <p>幼児の話をよく聞くようにしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている</p> <p>極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない</p> <p>教師の援助に進んで取り組んでいる（行事における机、いす移動など）</p> <p>教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の気持ちを不必要にあおっていない</p>	3.60	心がけている。	きちんとしてもらっている。行事にも積極的に参加してもらっている。
	<p>4</p> <p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している</p> <p>バス停の停車位置の変更に当たっては上司や担当教諭と相談している</p> <p>バス停に、バスが到着時、扉をあけるための「よし」を教諭に伝えている</p> <p>左折時の左巻き込みに、注意を払っている</p> <p>路肩走行をしていない</p> <p>雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している</p> <p>路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している</p> <p>住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している</p> <p>幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している</p> <p>幼稚園正門を出発時、担当者の出発合図を確認している</p> <p>幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している</p> <p>幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している</p> <p>年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している</p> <p>走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している</p> <p>渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している</p> <p>一日の終わりに、清掃を実施している</p> <p>一日の終わりに、外回りの点検を実施している</p> <p>ダイヤより安全を優先している</p> <p>スピード違反をしていない</p> <p>黄色の信号で進んでいない</p> <p>定刻に出発している</p>	3.63	駐車車両、後続車、対向車の接近により、指定乗降場所へ停車できない場合は、合図をしている。	大人数を乗車させるときも十分注意して、出発してもらっている。親側がしっかり、子どもを見て、停車時間の短縮につながるとよい。伝言がある時は、先生から電話やメモで話してもらったほうが停車時間が短くなる。長いと追い越す車などが増え危ない。
<p>仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている</p> <p>服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</p>				

Ⅲ 職員としての資質や能力、良識、適正	5	<p>運転職としてにふさわしい服装を身に付けている</p> <p>自らの健康に、十分に気を配っている</p> <p>爪の管理をしている</p> <p>保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている</p> <p>職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている</p> <p>幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない</p> <p>園の重要書類を無許可で持ち出していない</p> <p>備え付け用具の管理、点検に気を配っている</p> <p>バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している</p> <p>現金は管理せず、事務所に預けている</p>	3.73	園児の命を預かっているので、運転中に体調が悪くならないように、健康に気を配っている。	十分注意してもらっている。駐車場は狭くて大変でも誘導をしっかりしてくれている。	
	6	<p>教員と職員とが全員でひとつのチームであることを意識している</p> <p>他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている</p> <p>自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している</p> <p>園内、車両内禁煙を励行している</p> <p>教職員や園の批判をしていない</p> <p>教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない</p> <p>園のことを、みだりに、他へ話してしていない</p>	3.90	教職員や園の批判はしないが、時々疑問に思うことがある。	園や子ども達のことを考えてくれ、よく理解してもらっている。是非、意見を言ってもらいたい。	
	7	<p>幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる</p>	4.00	理解できるよう努めている。	出来ている。	
	Ⅳ 保護者への対応	1	<p>保護者との会話は「です」「ます」で行っている</p> <p>保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努める行事であることを理解している</p>	3.42	敬語は当然だと考えている。保育については分からないことが多い。	優しく接してもらっているので十分である。
		2	<p>保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。</p> <p>保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている</p> <p>保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている</p> <p>保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている</p>	3.46	気をつけて会話しようと思っている。	保護者からは、先生に相談しているので、そこまで気を使ってもらわなくても、十分である。
		3	<p>保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている</p> <p>個々の子どもの情報は口外していない</p> <p>保護者、家庭の情報は口外していない</p>	4.00	守秘義務は理解しているし、実行している。	注意してもらっている。
		4	<p>「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない</p> <p>朝、バス停に近づくごとに会釈している</p> <p>保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない</p> <p>自分の領域でない質問に無理に答えようとしていない</p> <p>保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している</p>	3.53	ら抜き言葉を使ってしまうことがあるので気を付ける。バス停での会釈は保護者の方々からなくても運行のルールとして、必ず行っている。	挨拶だけで充分である。

	5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している 幼稚園駐車場では、保護者車両の通行優先を実行している	3.67	報告、相談している。	駐車場の狭さにより、もめごとがあるのは仕方ない。充分してもらっている
地域との かか	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	3.67	努めている。	良い。
	2	他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	3.67	実施している。	良い。
VI 研修と 研究	1	自らの運転のマナーや方法について、自問している	3.79	園児の命を預かっていると思い行動している。	その通りだと思う。
		速度の出しすぎに注意している			
		他の走行車両に迷惑にならないように配慮している			
		地元の生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている			
		発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている			
		バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している			
		停止線で停止している			
	バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない				
	2	教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない	3.96	保育者の方々は、年下であるが、尊敬の念をもって接している。	その通りだと思う。
		教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない			
朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている					
	良識・常識・義務・マナーに留意している				
3	園の遊具や教材の使い方の危険性を理解している	3.60	教材についてはわからない。	良い。	
4	アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている	3.50	資格もなく経験もないので、保育の在り方についてはわからない。	その通りだと思う。	
	障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている				
	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している				

行事を通して

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
入園式	保育者 幼児が活動に参加することで充実感を味わうことが出来るよう幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	3.60	1つひとつの行動を十分認め、安心感、充実感を持てるよう努めた。一人ひとり寄り添うことが出来ず、丁寧な対応が出来ないところもあった。	良かった。
	幼児 温かい触れ合いの中で、存在感、充実感を味わう。	3.70	笑顔を心がけ、一人ひとりの名前を呼び、優しく接するよう心がけた。パペットを使うことで、子どもたちが喜び、より楽しむことが出来た。	良かった。
	保護者 幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	3.70	気持ちが高まるような声かけは出来たが、専門的なことや今後の話を出来なかったため、それができるとより意識を高めることができると思った。	良かった。

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
保育者	進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを意識し一緒に遊び、一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。	3.90	視線や表情、言葉づかいなど、温かい雰囲気や伝えられるよう留意した。一人一人の様子をよく見て気持ちを理解できるよう努めた。	

始業式	幼児	新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。	3.80	子ども達が楽しく過ごせるよう、慣れ親しんだダンスや遊びを取り入れ、友達同士の関わりを増やせるようにした。友達とグループを作り、リレーなどをして遊び、応援をする中で、自然に関わりを持てるよう工夫した。	先生が毎日同じ服を着てくれてよかった。
	保護者	新しいクラス、先生を知り、信頼関係の基盤作りをしていく。	3.80	子ども達が成長できるよう、クラスの目標や展望を伝える。保護者一人ひとりに丁寧に挨拶をし、また何か質問や不安に思っていることを話してもらえよう、雰囲気作りに努めた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
親子のつどい	保育者	3.70	遊びを通して親子、友達、保護者間の関わりが深まるよう努める。一人ひとりの幼児が、興味、欲求を十分に満足させられるよう環境を整え適切な援助を行う。	幼稚園で学年別に開催するのでもいいのでは？(平日に) 小学生がいる保護者は、この時期帰りが早いので午後までやると困る。プログラムも午前のものだけで十分だと思う。
	幼児	3.80	先生や友達、保護者と共に過ごす喜びを味わう。身近な人と親しみ、関わりを深め愛情や信頼感をもつ。	
	保護者	3.80	子どもたちと一緒に遊ぶ中で、保護者間や幼稚園との情報買っ冠の場にしてもらい信頼関係を深める。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練1学期	保育者	3.80	「大丈夫だよ。先生がいるからね」と声をかけ、子ども達が安心できるようにした。ゆっくりと落ち着いて声をかけ、確実に避難できるようにした。人数確認を移動のたびに行った。普段から素早く並んで人数確認がすぐ出来るようにしていた。	定期的実施してほしい。
	幼児	3.80	危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。訓練ということを理解して、怖がらずに避難することが出来る。口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することが出来る。怖がらず階段を降りることが出来る。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育6月	保育者	3.60	様々な遊びの中から、自分のやりたいことが見つけられるよう、興味のあるものを探し、保育者自身も楽しんで行えるよう心がけた。	年長組は親も給食が食べられてよかった。
	幼児	3.60	ふだんの遊びを取り入れ、じっくり遊びが進められるよう見守り、さらに遊びが広がるよう言葉がけをしていった。	
	保護者	3.50	日々子ども達が関心のある出来事や様子、活動内容をあらゆる手段を考え、伝え、安心して園に子ども達を任せられるという環境づくりをする。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
夏祭り	保育者			
	幼児			

保護者	子どもと特別な時間を過ごすことで、子どもの成長を実感する。		
-----	-------------------------------	--	--

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
プール遊び	保育者	3.90	水が苦手な子どもには、寄り添いながら進めた。一緒に楽しんで、水の冷たさや気持ち良さを感じながら遊ぶことが出来た。全体を見るよう心がけ、背を向けないようにした。	安全管理についておたよりなどで知らせて頂けて安心した。 水が苦手な子にも無理強いしないところはよい。
	幼児	3.90	一人ひとりに合わせた声かけ、目標を設定して取り組めた。水の気持ち良さを一緒に味わい、遊びの中で楽しさを知ってもらえた。保育者自身が水がかかっても平気な様子を見せ、安心できるようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
先生とあそぼ	保育者			
	幼児			
	保護者			

ねらい		達成度	課題	評価委員の考察
お泊り保育	保育者	3.70	子どもが2日間安心して過ごせるように、一人ひとりの体調管理や当日の朝の状況など、頭に入れ、熱中症対策にも気を付けた。また、保育者は自然に対する知識を深め、子どもたちに知らせるよう心がけた。	昼の出発になって、朝もゆっくりでき、弁当の用意(食中毒等も含む)がなく親は助かった。子どもも楽しそうだった。写真も見られてよかった。 子どもの様子を伝えてもらったことで、安心した。
	幼児	3.70	自分のことは自分で出来るよう、見守りながら進めた。幼稚園では見かけない生き物や虫を見つけ、山の自然に触れた。	
	保護者	3.70	怪我をした子どもや前日泣いて不安そうにしていた子どもには電話またはメモを書いて2日間の様子を伝え、安心してもらえるようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
新入園児面接	保育者	3.50	座って見る事で一人ひとりを観察することに集中できた。見るポイントの事前打ち合わせがあり、個々の動きをとらえたり、言葉がけを工夫できた。4人の目で、少ない人数を見られるのが良かった。	面接の主旨をわかっていれば、安心して臨むことができる。
	幼児	3.90	楽しく遊べるよう、興味を持って参加できるよう、笑顔と優しさを意識した。	

	保護者	園に信頼を寄せられる	3.50	保護者の言葉を引き出せるような、雰囲気作りを意識し、丁寧に答えるようにした。	
--	-----	------------	------	--	--

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
運動会	保育者	皆で体を動かすことを楽しみ、達成感を持たせる。	3.90	気持ちを込めて出来るように、保育者と子どもの声を拾い、みんなで作り上げていくことを心がけた。普段から衣装や道具などを身に付け、親しみが持てるようにした。練習の時と、日常の保育とで、メリハリをつけた。練習後は良かったところなどの振り返りを行い、互いを高められるように、子ども同士で見せ合いをし、良いアドバイスをしたり、こうしたらよくなると話し合った。	わくわく組の待機時間が多くてしんどそうなので、わくわく組だけ親子競技を入れてもいいのではないかと。トイレを男女に分けてもらったのが良かった。終了時間が早く、良かった。
	幼児	体を動かすことの嬉しさや楽しさを味わう。	3.90	実際に生き物を育てたり、調べたりして、どう動いているのか、見たり真似たりした。	
	保護者	集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	3.90	練習の様子を伝えた。会った時に、コミュニケーションをとるようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育11月	保育者	幼児が自らその環境にかかわることにより、様々な活動を展開しつつ、必要な体験を得られるよう援助する。幼児の活動する姿や発想を大切に、環境が適切なものとなるよう準備する。	3.50	子どもたちの興味を大切にしながら、より発展できるよう進めた。普段から、自然物をたくさん置き、いつでも使って遊べるよう環境にした。	普段の姿が見られるいい機会である。
	幼児	自然などの身近な事象に関心を持ち取り入れて遊ぶ。生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	3.90	子どもの身近なものから、それぞれ遊びが広がるよう、出し方、環境に気をつけながら進めた。	
	保護者	情報交換の機会であることを踏まえ幼児教育に関する理解が深まるよう活動内容を伝えていく。	3.60	活動の様子の写真と共に、エピソードなど書いて、活動がより分かるよう工夫した。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
交通安全指導	保育者	道路の歩き方や信号の渡り方などを知らせ身に付けられるようにする。飛び出しの危険性を知る。	3.80	クラスに戻ってから横断歩道の渡り方や信号の見方など交通ルールについて振り返りの話をした。また実践する時間を設けた。	子どもの意識が変わった。
	幼児	交通ルールを守ることの大切さを知る。	3.80	DVDがわかりやすく、ルールをよく理解できていた。クラスで、交通ルールの話し合いをすることで、ルールの大切さをより深めることが出来た。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難	保育者	慌てず、安全を第一に子どもを非難させることが出来る。	3.80	人数確認を何度もした。安心して慌てず避難できるように、事前に話をしてから取り組んだ。不安な子どもや援助が必要な子どもには手を繋ぎ、安心してお稽古できるようにした。	定期的に行ってもらい、ありがたい。

訓練 2学期	幼児	危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。訓練ということを理解して、怖がらずに避難することが出来る。口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することが出来る。怖がらず階段を降りることが出来る。	3.70	毎回お稽古しているのに、落ち着いて取り組むことが出来た(わくわく組)落ち着いて取り組むことが出来るよう話してから行った。いつもとは違う声で話すことで、集中して話を聞き、怖がらずに取り組むことが出来た。	災害時、津波がきたときの避難方法や保護者への子どもの引き渡し方法を定めたマニュアルがほしい。
-----------	----	---	------	--	--

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
クリスマス会	保育者	4.00	興味がわくように、歌やダンス、絵本などで導入をした。子ども達と話をし飾りを考えたり、作ったりした。クラスによって飾りは身近な素材を使うなど、工夫が見られた。	かわいい給食にプレゼントに子どもも喜んでくれる。
	幼児	4.00	サンタさんが住んでいるところや、好きなものなど子ども達と一緒に考えた。クリスマスメニューの給食や電飾など一緒に楽しい気持ちを共有することが出来た。子どもの自発的な思いを大切にしたい。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
学習発表会	保育者	3.80	子どもの気持ちが高まるように、励ましたり、認めたりしながら練習をした。クラスで目標を決め、見せたり、見たりすることで一緒にする達成感を味わえるようにした。	テーマがあってわかりやすくよかった。あらかじめ、内容、取り組みのおたよりがあったのでよかった。
	幼児	3.90	事前にどんなことに挑戦するか考えたり、終わってから良かったところを話し合ったりして子どもが自分で気づくことが出来るように進めた。動きについての言葉がけでなく、より表現に繋がる、気持ちの入るような言葉を使った。	
	保育者	3.80	出来た、出来ないを伝えるのではなく、なるべく非認知能力を伝えられるよう、日々していたことやその日の姿を伝えた。家庭での発表会に対する言動などを、教えてもらい、お互いに共有した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
一日入園	保育者	4.00	子ども一人一人と優しく温かく接するようになった。遊びの中で、十分受け止めるようにし、工夫した。	入園のしおりに製作する巾着等の写真を載せてほしい。先生と触れ合うことで、4月からの幼稚園がより楽しみになってよかった。
	幼児	4.00	無理強いはせず、笑顔が引き出せるような言葉をかけ、接した。	
	保護者	4.00	不安が多いと思うので、緊張がほぐれるように、笑顔で丁寧に答えるようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
お別れ	保育者		コロナウイルスの拡大のため行わない。	来年度楽しみにしている。
	幼児			

会	幼児	お別れ会に楽しく参加する。別れだけでなく成長を感じる。		コロナウイルスの拡大のため行わない。
---	----	-----------------------------	--	--------------------

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
雪あそび	保育者	最後の遠足であることを知り楽しむ。	3.90	滑っている時に怪我やトラブルが無いよう気を付けて見守るようにした。バスの中では、リラックスできるように上着を脱いだり、帽子をとったりするなど声をかけるようにした。バスの中で近くの子どもにしか話せなかったため、多くの子どもと話せると良かった。
	幼児	最後の遠足であることを知り楽しむ。	3.90	ソリ滑りに飽きた子ども達は、雪合戦をしたり、風船の中で遊んだりするのを見守るようにした。一年の振り返りが出来るように、話をするようにした。

子どもたちは最後の遠足とっていなかったため、(3月にもあると思っていた)最後と伝えてほしかった。
他の幼稚園にはない魅力のある行事なので雪不足、先生たちの負担にはなると思うが続けてほしい。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
卒園式	保育者	大切な時間を共に過ごし温かく送り出す。小学校生活へ興味、関心がもてるように促す。	3.90	触れあう時間を大切に、思い出を話したり、小学校に向けて言葉をかけたり、ありがとうという気持ちと大きくなったという成長を喜んだ。
	幼児	長限られた時間の中で、一つ一つの体験を大切に、ともに楽しみ共感し合う。在様々な関わりを通して年長児の卒園することを知り、親しみや畏敬の念を持つ。	3.80	長限られた時間を大切に、認め、自信を持って卒園に向かった。在会食やお別れ会など無くなったが、感謝の気持ち、寂しくなる気持ちなど持てるよう、声をかけた。
	保護者	子どもと共に成長の区切りを知り、地域、家庭の新しい生活のリズムへ配慮する。	3.70	笑顔で接し、保護者の不安や喜びを受け止めた。成長について話をしたり、感謝の気持ちを伝えたりした。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活動 一学期	保育者	やりたいと意欲を持てるような声かけや援助を行う。	3.30	保育者自身がやってみて、楽しさや面白さを伝えられるようにした。子どもがやってみようと思える環境づくりを心がけた。
	幼児	いろいろな遊びをやらうとする。	3.50	保育者が、一緒にすることで、いろいろな遊びを経験したり、楽しむ姿が見られた。虫探しや砂で遊ぶ子どももいたが、体を動かす方向へ目を向けることが出来なかった。

どろんこ遊び、来年もたくさんしてほしい。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活動 二学期	保育者	子ども達の興味を引き出せるような遊びを展開する。	3.60	友達とできる遊びなどを提案し、楽しく体を動かせるようきっかけづくりをした。保育者が楽しんで行ったり、本気になって勝負したりすることで、楽しさが伝わるようにした。
	幼児	様々な遊びを通して、体を動かすことを楽しむ。	3.80	器具などに興味を持てるよう、働きかけた。保育者も一緒に行うことで、楽しさを共有するようにした。

様々な遊び(どろんこ、色水、プール)をしてもらいたい。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
-----	--	-----	-------	---------

三 学 期	外 の 活 動	保 育 者	(わく・年少)取り組めた姿勢を十分に認め見守りながら適切な援助を行う。 (年中・長)主体性を大切に、自信につながるような言葉がけ、援助を行う。	3.90	(わく少)一緒に子ども達と動くことで、器具や集団遊びにも、取り組めるようにした。出来たことを認め、次もやってみようという思いが育つようにした。 (年中、長)体を動かしたいと思えるよう、積極的に器具を出すようにした。挑戦しようと頑張っている時に声を掛け、自信につながるようにした。	学 年 に 合 っ た 言 葉 が け 、 援 助 を し て も ら っ て い る。
		幼 児	(わく・年少)自分の力で行動することの充実感を味わう。 (年中・年長)身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	3.80	(わく、年少)自分からやってみたいという思いが芽生え、進んで体を動かす姿が見られた。 (年中、年長)やってみようとする姿を見守り、難しい時には援助するよう心がけた。子どもの気持ちに寄り添いながら一緒に楽しんだ。	